シャッターチャンス

。。。。。。。 小野 光希選手おめでとう、さらなる活躍を!



5月12日、スノーボード・ハーフパイプのワールドカップで総合 優勝、世界選手権で銅メダルの獲得を果たした小野選手(吉 川市在住)が中原市長を表敬訪問し「次の大会では新しい技 に挑戦し、表彰台を目指したい」との強い決意が伝えられまし た。引き続き、小野選手の活躍に熱い応援をお願いします。

田植え体験を通し、食の大切さを学びました





5月24日、市内農家・JAさいかつ・中井農産センターに協力 いただき、北谷小学校5年生による田植え体験が実施されま した。当日は初夏の陽気の中、初めて水田に入った児童も多 く、慣れない足場の中で一生懸命に稲の植え付けを行いま した。豊作になることを願い、今後も稲の発育を見守ります。

問合せ:スポーツ推進課 ☎982.6800FAX983.1867

スポーツ × 多様性 = ?

スポーツにおける「多様性」と聞くと、難しく感じるかもしれませんが、市では、スポーツ推進計画に掲げている 目標の一つとして「多様性に応じたスポーツ活動の展開」をテーマに事業を実施しています。

障がいの有無や性別、国籍の違いだけでなく、ライフスタイルや価値観の多様性などに伴い、スポーツを行う目 的は多岐に渡ります。誰もがスポーツに親しみ、楽しむことができるよう、次のような事業を展開しています。

ボッチャ大会



障がいの有無や性別、年齢、国籍の違いなどにかかわらず同じ コートでボッチャをプレーします。対戦する組み合わせを障がい 者と健常者を分けずに、一緒にプレーをすることで、参加者同士 の交流を促し、多様性の理解の促進を図ります。

GO! スポーツ



ボッチャや卓球バレーといった障がい者スポーツを始 めとしたさまざまな種目を「スポーツを楽しむこと」を モットーに、大人から子どもまで障がいの有無に関係 なく、無料で体験できます。



違いを楽しむスポーツ教室



市内団体の協力のもと、ロービジョンフットサル体験やクイズ、ゲーム などで、多様性について学ぶ教室を開催しています。専用ゴーグルを 着用したロービジョンの視界体験や、障がいの特性に配慮し、誰もが 楽しめるようにルールを工夫しながらゲームを行うことで、障がいにつ いての理解を深めるとともに、多様性について学ぶことができます。



「多様性」と聞くとちょっ と難しいイメージがありま す。でも、イベントや教室に 参加して「スポーツ」として 体験すると「多様性とは何

か」を自然に理解することができるのでは ないでしょうか。



「スポーツが持つ力」で 「多様性あふれる社会」へ の理解をつなげられるよ う、市では、今後もさまざ まな事業を展開していき ます。

